

東京大学史料編纂所 共同利用・共同研究拠点

## 一般共同研究「東京大学史料編纂所所蔵山科家旧蔵史料の調査研究」による公開研究会

東京大学史料編纂所では、2010年度より「日本史史料の研究資源化に関する研究拠点」の事業として、所内外の研究者による「共同利用・共同研究」の研究課題の募集を開始しました。今年度、一般共同研究課題に採択された「東京大学史料編纂所所蔵山科家旧蔵史料の調査研究」（研究代表者・宇佐見隆之）では、下記の要領にて研究会を開催いたします。山科家旧蔵史料に関する、あるいは山科家旧蔵史料を主たる素材にもちい、室町時代を主対象とする報告3本を用意しています。ご関心をお持ちの方は、ぜひご参加ください。

日時：2011年3月16日（水） 14:00～17:00

場所：東京大学史料編纂所・大会議室

（史料編纂所入り口の向かい、UTカフェの地下一階）

[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_14\\_03\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_14_03_j.html)

報告：（いずれも仮題）

末柄 豊（東京大学史料編纂所）

「東京大学史料編纂所所蔵山科家旧蔵史料拾遺 一系図二種一」

宇佐見隆之（滋賀大学）

「近江の関所について」

河内 将芳（奈良大学）

『言継卿記』にみえる町共同体の記載をめぐって

—「まち」か「ちょう」か、あるいは「チャウ」か—

※人数把握のため、参加ご予約の方はメールフォームよりご一報ください。

<https://www.hi.u-tokyo.ac.jp/footer/seminar-entry.html>